

森林保全

ブナ林の保護対策は

町長／群落の保全は大切



別府 静春議員

別府 紫尾山頂は、北・南方系要素の植物が混在し、植物学的に貴重である。ブナの後継木や育成地など保護対策は。

町長 薩摩半島の南限といわれるブナ林は、国有林で林木遺伝資源保存林に指定され、学術的にも貴重な群落で温暖化が懸念されるなか、植生への影響は深刻で保全は大切なことと認識していますので、議員提案の調査等については、森林管理署に要望してまいります。

間伐補助金の 高上げを

町長／国・県へ
要望

別府 温室効果ガス削減目標達成のため、間伐促進法案を閣議決定し推進を図っているが、町村会長として補助率アップを請を



紫尾山頂付近のブナの巨木

町長 現在、国が事業費の30%、県が10%であり、人工林においては間伐作業は必要不可欠となっておりますが、補助事業を導入したとしても赤字となり間伐作業は進まない状況にあります。積極的な推進のためには、間伐補助金の高上げを前向きに要望してまいります。

集落営農

リーダーの育成を

町長／研修会への参加を図る



東 哲雄議員

東 組織の推進が図られているが、なかなか進まない。意識の転換もあるが、特にリーダーの存在が大きい。今後の取り組みは。

町長 これまで農業委員や農作業受託組織代表との意見交換会を実施して



県が開催した集落営農研修会（ひまわり館）

います。

平成20年度も集落営農の必要性やリーダーとしての役割などを研修してもらったため、県主催の集落営農塾や講演等の研修会へ参加を呼びかけリーダーの育成を図ってまいります。

定住環境整備 について

町長／情報提供に
努める

東 平成19年度は日本特殊陶業等の増設により雇

用拡大につながったが、本町への居住状況と定住環境整備の具体策は。

町長 日本特殊陶業と日特製作所の新規雇用は60名で町内居住者は41名です。

若者の雇用の場の確保は定住促進対策の中でも最重要課題であります。

また、本年企業立地促進法の制定に伴い、農地法等の手続きの迅速化が配慮されることから、これらの情報も広く提供します。